

STAR

取扱説明書・部 品 表

ワイドビータアタッチメント

製品コード K30514

型 式 AWB1000

部品供給型式 AWB1000-01

ディスクビータアタッチメント

製品コード K30515

型 式 ADW1000

部品供給型式 ADW1000-01

規制板アタッチメント

製品コード K30489

型 式 ARW1820

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。


スター農機株式会社

START



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



警告

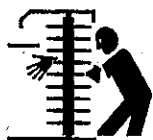
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

 危険

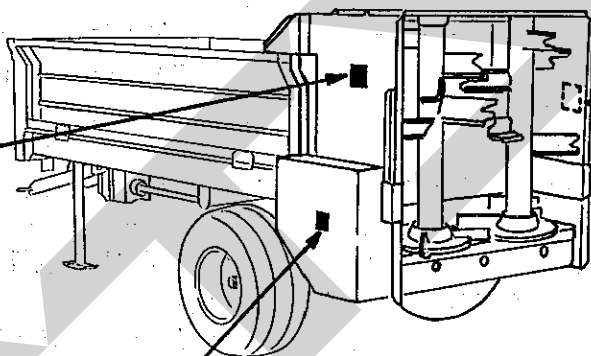


運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。止めて下さい。

部品番号 106243



 危険



運転中又は回転中、ピータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106246

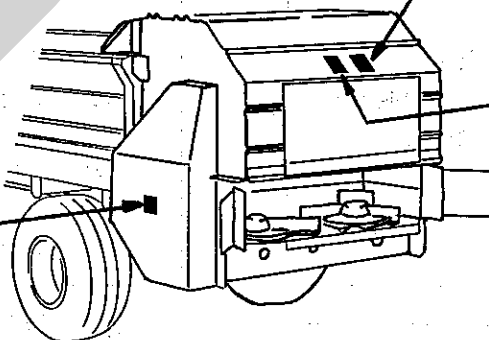
 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106241



 危険



運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。

周囲に人を近づけないで下さい。

ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめて下さい。

部品番号 106244

ラベルが損傷した時は

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す **部品番号** をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。

帽子を着用する。

はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

作業機を脱着する時は

▲警告

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンを止めずに行くと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。

エンジンを止めて、マニュアルボディの車輪に輪止めをして行ってください。

荷物を積載する時は

▲注意

- 過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをする事があります。指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。

ほぼ平坦になるように積載してください。

作業中は

作業する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、ピータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故を招く事があります。作業機の上には、人を乗せないでください。

▲注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転部に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業にトラブルをおこしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

もくじ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	3
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	3
作業中は	3		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	6	6 パワージョイントの装着	
2 適応トラクタの範囲	7	1. 長さの確認方法	9
3 トラクタへの装着	7	2. 切断方法	9
4 規制板アタッチメントの組立・装着	7	3. 安全カバーの脱着方法	10
5 補助アオリアタッチメントの組立・装着	8	4. パワージョイントの連結	10

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検		2 エンジン始動での点検	
1. トラクタ各部の点検	11	1. 駆動系統に異常はないか	11
2. 連結部の点検	11	3 給油箇所一覧表	12
3. パワージョイントの点検	11		
4. 製品本体の点検	11		

3 作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的	13	5 堆肥・鶏糞の積み込み方	14
2 床コンベヤ変速操作	13	6 作業要領	15
3 床コンベヤ変速段と散布量	13	1. PTO回転速度	15
4 規制板	13	2. 散布作業の仕方	15
1. ディスクピータアタッチメント用	13	7 移動走行	15
2. ワイドピータ用 (オプション)	14		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	16	3 長期格納する時	16
2 トラクタからの切り離し	16		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	17	2 各部の調整	18
		1. 床コンベヤチェーンのテンション	18
		2. ローラチェーンのテンション	18

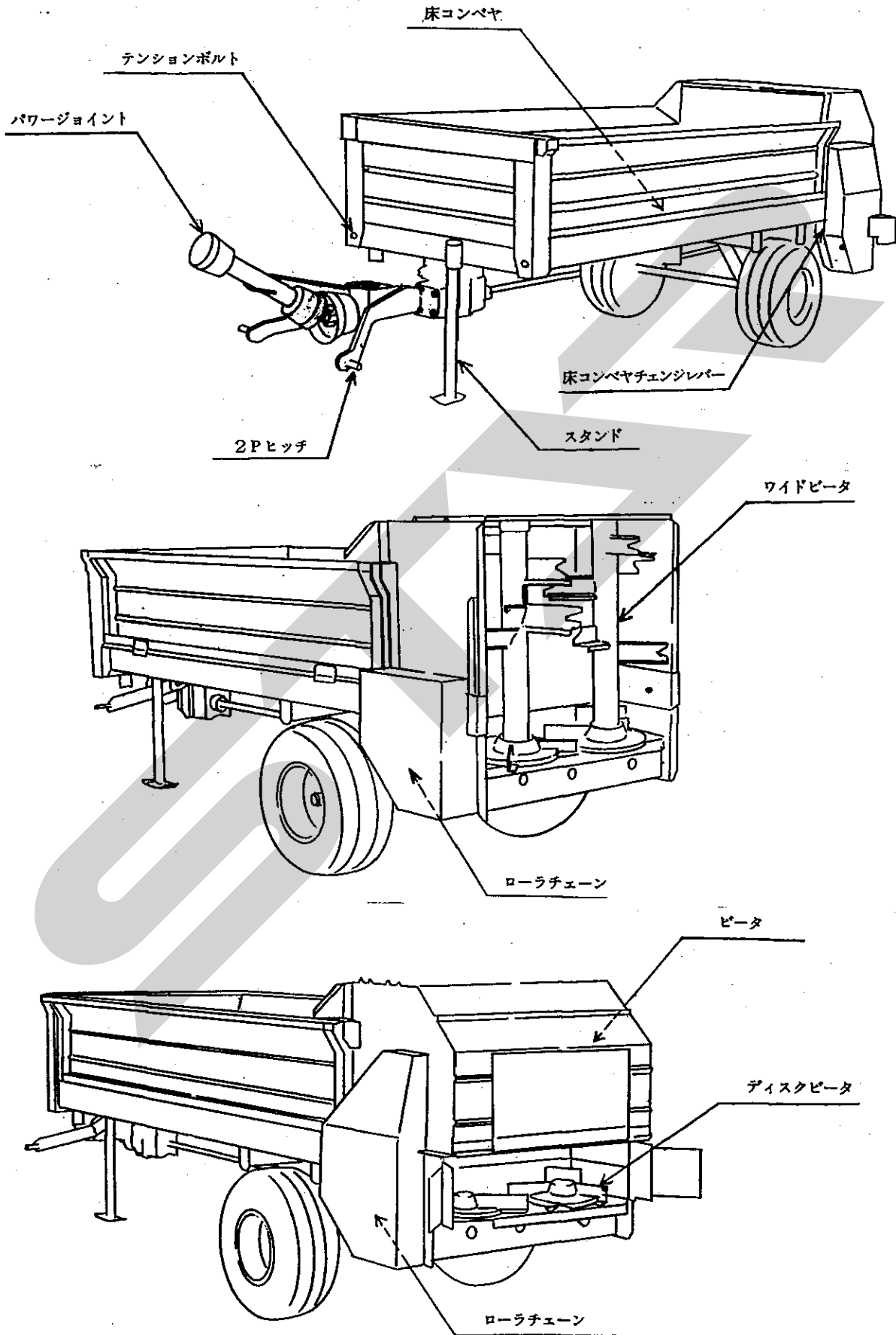
6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	19
-----------	----

7 部品表

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき



1. パワージョイント

トラクタPTO軸に接続し、作業機本体へ動力伝達するのに使用します。

2. 2Pヒッチ

トラクタのローリンクに連結して使用します。

3. スタンド

トラクタから切り離す時に使用します。

4. テンションボルト

このボルトを回して、チェーンのテンション調整をします。

5. ディスク

堆肥をくつきながら散布します。

6. ビータ

積載された堆肥をならし、ディスクに定量供給します。

7. ワイドビータ

堆肥をくつきながら散布します。

8. ローラチェーン

作業機本体からアタッチメントへ動力を伝達します。

9. 床コンベヤ

荷箱に積載された堆肥をビータへ定量送りするのに使用します。

10. 床コンベヤチェンジレバー

床コンベヤを停止させたり、定量送りさせるのに使用します。定量送り段数は、3段になっています。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着によりの確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品は適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

型 式	適応トラクタ馬力	最大積載量
TMB1000+ AWB1000 ADW1000	15~30 PS	1,000kg

3 トラクタへの装着

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に入ると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に入らないでください。

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのローリンク先端部と本機の左右のローリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のローリンク、右のローリンクの順に連結し、抜けだめにトラクタに付いているリンチピンをローリンクピンに差ししてください。
- (3) 左右のローリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタのエンジンを始動して、トラクタ3点リンクを上昇する油圧レバーを操作して2Pフレームを上げエンジンをとめてください。
- (5) スタンドを上げリンチピンで固定してください。
- (6) PICの軸心がトラクタ中心におおよそ一致するように、チェックチェーンをセットし本機の横振れをなくしてください。

4 規制板アタッチメントの組立・装着

(ワイドビータアタッチメント用：オプション)

▲警告

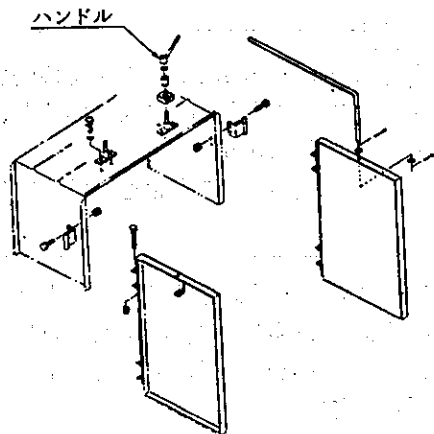
- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。
エンジンをとめて、マニュアルボディの車輪に輪止めをして行ってください。

部品と同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

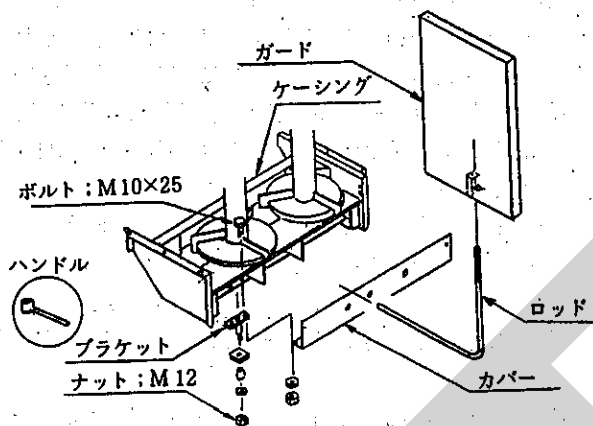
通常は、ハンドルが上方になるように取り付けますが、ハウスや果樹園等高さ制限がある場合は、図を参照の上、下記の要領で取り付け願います。

- ① ケーシングのカバーをはずしブラケットを取り付けます。
- ② ガードを取り付けます。
- ③ 圃場条件等で、最低地上高に問題がある場合

はハンドルを使用せず、ナット；M12でロッドを締め付けてください。



通常の組立



高さ制限のある場合の組立

5 補助アリアタッチメントの組立・装着

(オプション)

▲警告

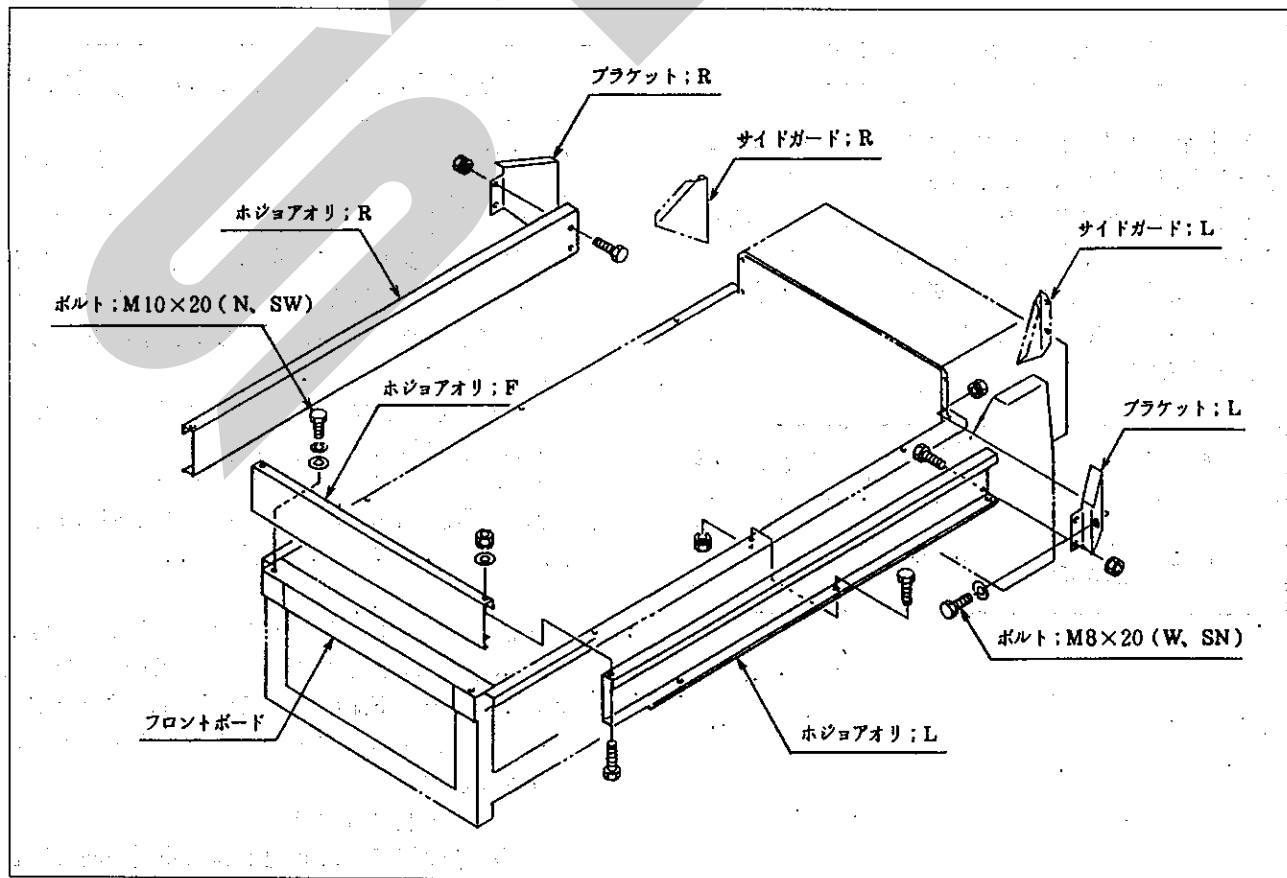
- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

部品と同梱の梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

- ① ホジョアオリ；L、Rとブラケット；L、Rを仮止めしておきます。
- ② サイドガード；L、Rをはずし、仮止めしたホジョアオリ；L、Rを取り付けます。
- ③ フロントボードの取り付けボルトをはずし、ホジョアオリ；Fと共締めします。
- ④ ホジョアオリ；Fとホジョアオリ；L、Rをそれぞれボルト締めします。

〈注意〉

補助アオリを取り付けた場合、アオリの開閉はできません。



6 パワージョイントの装着

▲危険

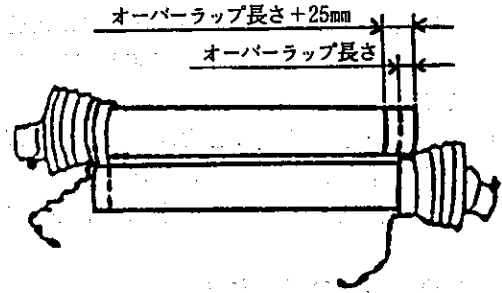
- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが破損したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

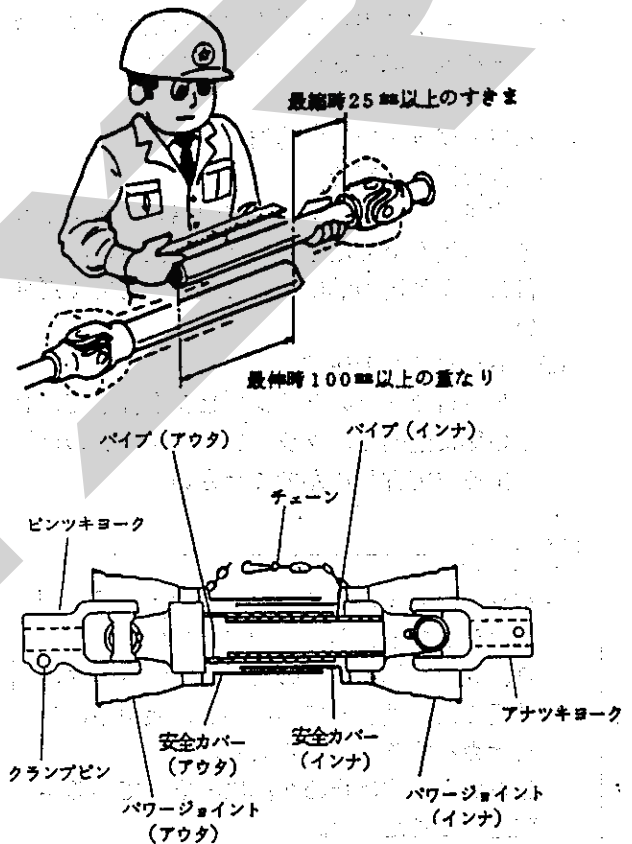
- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きる事があり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。適当な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント（アウト）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (2) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (3) トラクタ側は、ピン付ヨークのクランクピンを押してPTO軸に連結し、クランクピンが元の位置に出るまで押し込んでください。作業機側は、アナツキヨークをPIC軸に連結し、ピン；8を差し込んでください。
- (4) 安全カバーどうしを重ね合わせた時、安全カバー（アウト）と安全カバー（インナ）がオーバーラップする位置に目印を付け、さらにオーバーラップした長さが25mmを加えた位置に印を付け、この印からカバー端部までの長さを切断方法の手順に従って切断してください。

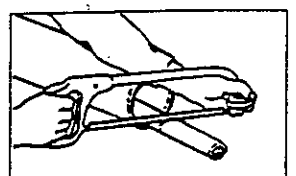
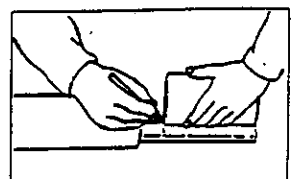
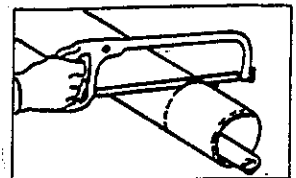


- (5) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (6) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプの重なりが100mm以下の場合、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。



2. 切断方法

- (1) 安全カバーのアウト・インナ両方を長い分だけ切り取ります。
- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。
- (3) パイプのアウトとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウトとインナを組合わせます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) パワージョイント（アウト）からパワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (2) パイプ部を堅い台の上に立て、安全カバーを強く押しさげると噛み合わせ部がはずれ、安全カバーが取りはずせます。
- (3) 安全カバーの取り付けは手順を逆にしてください。
- (4) カバーが破損して交換する時以外は安全カバーを取りはずさないでください。

4. パワージョイントの連結

(1) 作業機への連結

穴付ヨークをP I C軸に連結し、ピン；8を差し込んでください。ピンの抜け止めを穴付ヨーク外周の溝に確実にはめ込んでください。

(2) トラクタへの連結

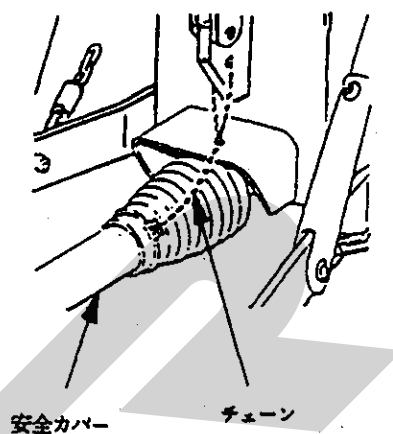
ピン付ヨークのクランプピンを押して、P T O軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲注意

- パワージョイントを接続した時、P T O側のクランプピンが溝に納まっていなかったり、P I C側のピンの抜け止めがヨークの外周の溝に納まっていないと、使用中に外れケガをする事があります。ピンおよび抜け止めが溝に納まっているか、確認してください。

- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

2. 連結部の点検

ローリンクピンには抜け止めのリンチピンが確実に挿入されているか。

不具合が見つかった時は抜け止めのリンチピンを挿入してください。

3. パワージョイントの点検

(1) トラクタ側パワージョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。

(2) 作業側パワージョイント固定のピン；8の抜け止めが、穴付ヨーク外周の溝に入っているか。

(3) ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、余裕はあるか。

(4) ジョイントカバーに損傷はないか。損傷している時は、速やかに交換してください。

(5) 不具合が見つかった時は、「1-6 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

4. 製品本体の点検

(1) ハブナットにゆるみはないか。

(2) タイヤの亀裂、損傷はないか。

(3) タイヤの溝深さは適正か。異常摩耗はないか。

(4) タイヤの空気圧は適正か。

タイヤサイズ	22×10.00-10 8PR
空気圧	370kPa(3.75kg/cm ²)

(5) 床コンベヤチェーンのテンションは適正か。

(6) ローラチェーンのテンションは適正か。

(7) 損傷部品はないか。

(8) 各部の給油は十分か。

2 エンジン始動での点検

▲警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統に異常はないか

トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させてください。

(1) パワージョイントから作業機本体までに異常はないか。

(2) ワイドビータ・ディスクビータに異常はないか (AWB1000ワイドビータアタッチメント、ADW1000ディスクビータアタッチメント)

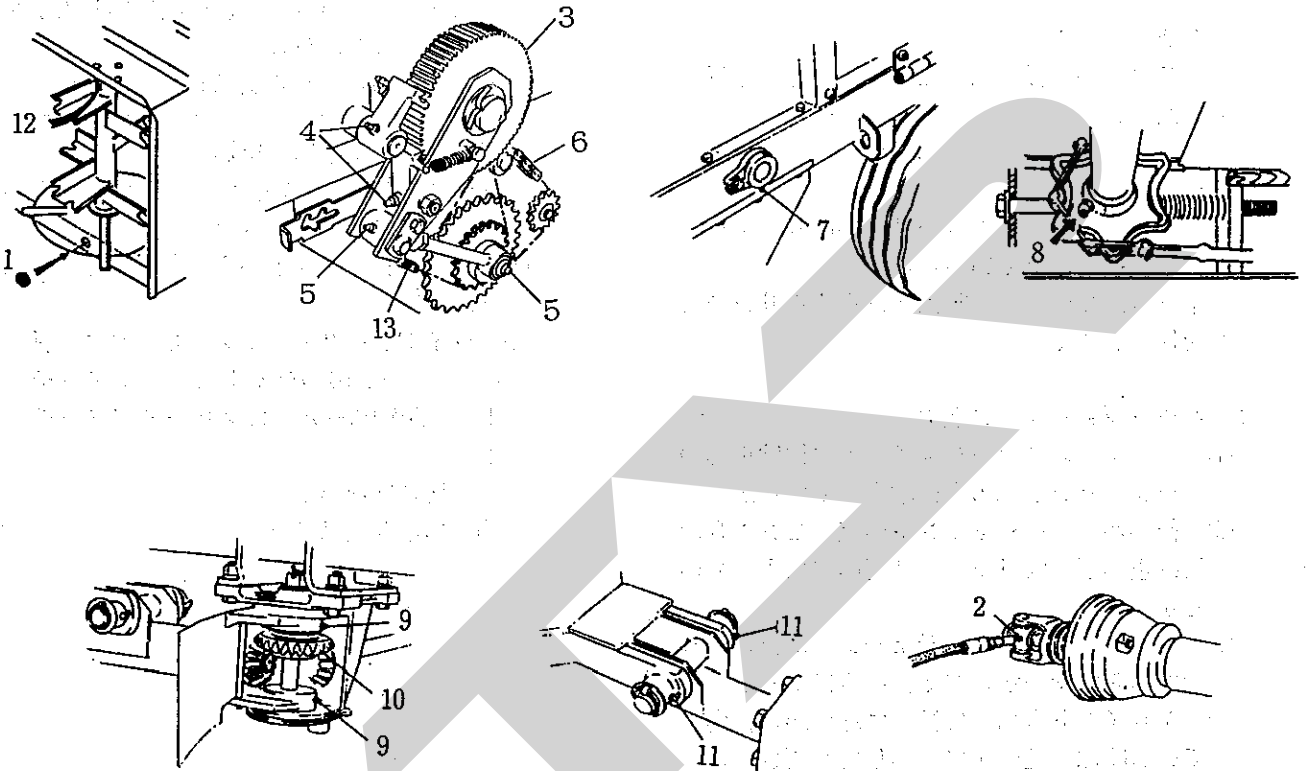
① 異音はないか。

② 異常な振動はないか。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは、清浄なものを使用してください。

○グリース給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。



No.	給脂場所	箇所	潤滑油の種類	交換時期	給油量	備考
1	ギヤケース	3	グリース	使用毎	適量	給脂
2	パワージョイント	2	"	"	"	"
3	ラチェットホイール	1	"	"	"	"
4	ノッチ	2	"	"	"	"
5	コネクティングロッド	2	"	"	"	"
6	ローラチェーン	1	"	"	"	"
7	コンベヤ軸々受	2	"	"	"	"
8	コンベヤ従動sprocket	2	"	"	"	"
9	ピン	2	"	"	"	"
10	カウンタギヤ	1	"	"	"	"
11	ローリンク	2	"	"	"	"
12	ピータ軸々受	2	"	"	"	" AWB1000
13	ローラチェーン	1	"	"	"	" ADW1000

3 作業の仕方

安全を確認して、慎重に作業してください。

1 本アタッチメントの使用目的

堆肥や鶏糞の散布作業に使用してください。
他の用途には使用しないでください。

取扱い上の注意

堆肥や鶏糞以外の散布をすると、マニユアボディおよびアタッチメントが破損する事があります。
本アタッチメントの使用目的以外での使用は、やめてください。
また、堆肥や鶏糞の中に石・木片・氷塊などが混入していると、機体の破損原因となる事があります。混入しないように日常から管理してください。散布時に、混入が見つかったら、取り除いてから作業してください。

2 床コンベヤの変速操作

コンベヤ速度は、3段階に変速できます。
チェンジレバーを希望変速位置溝までスライドさせ、溝にはめこむと、変速操作は完了します。
尚、チェンジレバーをN（中立）にするとコンベヤのみ停止します。

3 床コンベヤ変速段と散布量

床コンベヤ変速段と散布量の関係は、下記の通りです。

堆肥の性状と希望散布量から、床コンベヤ変速段とトラクタの車速を決め作業してください。

コンベヤ速度	堆肥 走行速度	未完熟堆肥 (400kg/m ³)		完熟堆肥 (950kg/m ³)	
		3 km/hr	5 km/hr	3 km/hr	5 km/hr
T M B 1000	1 速	1.2t/10a	0.7t/10a	2.8t/10a	1.7t/10a
	2 速	2.4	1.4	5.6	3.4
	3 速	3.5	2.1	8.4	5.1

4 規制板の調整

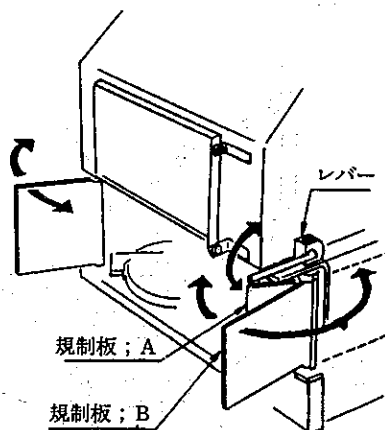
1. ディスクピータアタッチメント用規制板

ディスクピータアタッチメントは、2種類の規制板を標準装備しています。
作業内容に応じて使用してください。

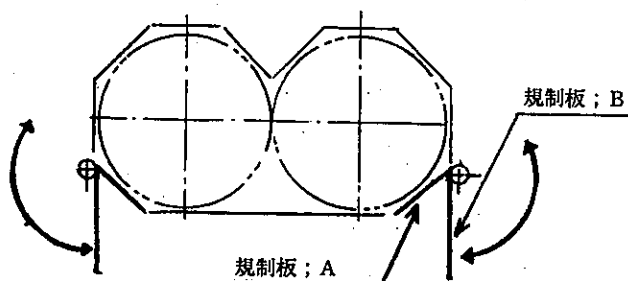
① 散布巾の調節

散布巾調節用の規制板は、2重構造になっています。

規制板；Aで散布巾を調節し、規制板；Bでハウスのポールや果樹園の枝への飛散を防ぎます。



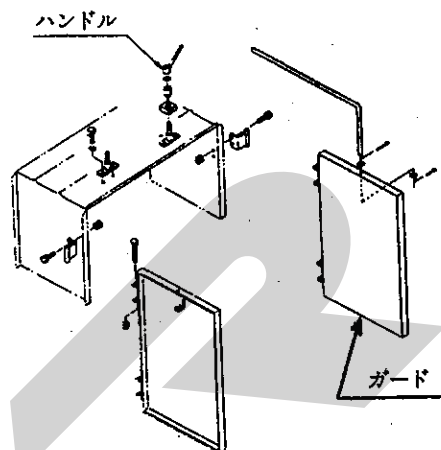
散布巾5～6mの規制板標準位置は下図の通りです。散布巾は、堆肥の種類や水分によって異なります。レバーを上げると規制板の角度を調整できます。希望の散布巾になる位置にセットしてください。レバーを下げると規制板が固定されます。規制板を使用しない作業では外側にたたんでください。



2. ワイドビータアタッチメント用規制板（オプション）

〈使用方法〉

ハンドルを緩め、希望の散布巾になるようガードの開き具合を調節してください。（散布巾は、堆肥の種類や水分によって異なります。）



取扱い上の注意

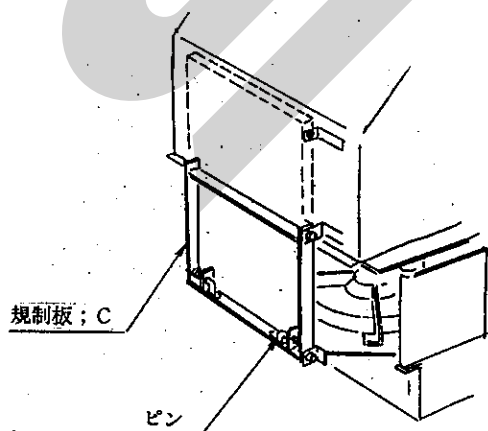
両サイド散布作業で散布巾調節用の規制板は、絶対に使用しないでください。

石等の異物混じりの堆肥では、規制板を使用しないでください。

② 両サイド散布の調節

散布巾の調節用の規制板は、たたんでおきます。

規制板; Cを下げ左右のピンで固定します。両サイド散布以外の作業では、規制板; Cは上方にたたんでください。



5 堆肥・鶏糞の積み込み方

1. 荷台の前方から後方に向かって、積み込みしてください。

取扱い上の注意

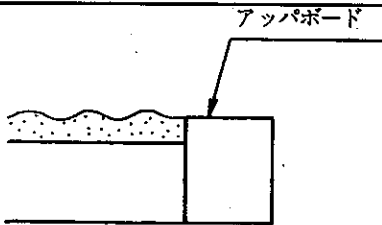
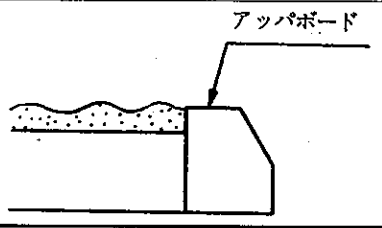
前方から後方に向かって積み込みをすることにより散布時に堆肥や鶏糞がほぐれやすく、機体に無理がかかりません。

積み込みの順序を、後ろに積んだり、前に積んだりなどのようにバラバラに行うと、無理な力がかかったり、散布ムラの原因になる事があります。

2. 積み込み高さは、次図を目安として、できる限り均一にしてください。

取扱い上の注意

積み込み過ぎや不均一な積み込みで散布すると、ビータ部で詰まりが起きたり、散布ムラの原因になる事があります。また機体の破損原因になる事があります。適正な積み込み高さにして、さらに均一に積み込んで作業することにより、トラブルのない順調な作業ができます。

<p>AWB1000 ワイドビータアタッチメント アッパーボードまで</p>	 <p>アッパーボード</p>
<p>ADW1000 ディスクビータアタッチメント アッパーボードまで</p>	 <p>アッパーボード</p>

6 作業要領

▲危険

- 運転中又は回転中、ビータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、ビータにより石などが飛散し、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

▲警告

- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。指定回転速度を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとお降りてください。

▲注意

- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。

た変速位置にセットしてください。

- (3) 走行クラッチを切った状態で、エンジンを低速で回転させ、PTOクラッチを入れてください。
- (4) PTO回転速度を本作業機の適正回転速度(540rpm)にセットします。
- (5) ビータから堆肥が散布され始めたら、走行クラッチを接続し、散布作業を始めてください。

7 移動走行

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせることがあります。移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業機に堆肥を積載して、移動走行する時、トラクタの操縦性は、空車時とは大きく変化します。堆肥の積載により、トラクタの前輪荷重割合が減少し、ハンドルの切れ味が低下したり、ブレーキをかけた時の制動距離が長くなるなどの現象としてあらわれます。

移動走行する時、低速走行し、ブレーキ操作は早めに行ってください。

また、過積載は、この現象を助長させますので、本作業機指定の最大積載量をお守りください。

1. PTO回転速度

本アタッチメントの適正PTO回転速度は、540rpmです。

2. 散布作業の仕方

- (1) 床コンベヤ変速を希望する散布量から選択して、セットしてください。

型 式	最大積載量
TMB1000+ AWB1000 ADW1000	1,000kg

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲危険

- 運転中又は回転中、ピータに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。ピータを回転させての、荷台内の清掃は危険です。やめてください。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている堆肥等は、圃場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いたワラやトワインなどは、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. 各部の給油箇所は、「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油してください。
4. PTO軸、PIC軸、ジョイントスプライン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 トラクタからの切り離し

▲注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤の堅い所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

1. トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
2. 作業機の車輪に輪止めをしてください。
3. PTO軸からパワージョイントを外してください。
4. ジョイントスタンドに、パワージョイントをたてかけてください。
5. スタンドが接地するまで2P倍角ヒッチを下げてください。
6. ローリンクピンに差し込まれているリンチピンを抜きローリンクピンからローリンクを抜いてください。
7. トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させてください。
8. 取り外したリンチピンは保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

▲注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

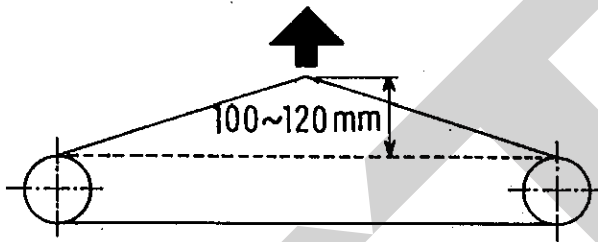
時 間	項 目	処 置	備 考
新品使用1時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め	
使用毎	機械の清掃		
	ローラチェーンのテンション	「5-2-2 ローラチェーンのテンション」に基づき調整	
マ ニ ュ ア ボ デ イ	パワージョイントの破損	部品交換	
	安全カバーの損傷	〃	
	ハブナットのゆるみ	増し締め	
	タイヤの亀裂・損傷	交 換	
	タイヤの異常摩耗	〃	
	タイヤの空気圧	「2-1-4製品本体の点検」に基づき調整	
	床コンベヤチェーンのテンション	「5-2-1床コンベヤチェーンのテンション」に基づき調整	
	各部の損傷、部品脱落	部品交換・取付	
	各部のボルト・ナットのゆるみ	増し締め	
	各部の給油	「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油	
シーズン終了後	機械の清掃		
	ローラチェーンのテンション	「5-2-2 ローラチェーンのテンション」に基づき調整	
	タイヤの溝深さ	溝が浅ければ交換	
	各部の損傷、部品脱落	部品交換・取付	
	コンベヤチェーンの伸び	全数交換	
	各部のボルト・ナットのゆるみ	全ボルト・ナットの増し締め	
	各部の給油	「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油	
	塗装損傷部	塗装または油塗布	

	時 間	項 目	処 置	備 考
ワイドビータ・ディスクビータアタッチメント	使 用 毎	機械の清掃 ビータブレードの摩耗 各部の損傷・部品脱落 ローラチェーンのテンション 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油	早めの部品交換 部品交換・取付 「5-2-2 ローラチェーンのテンション」に基づき調整 増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油	ADW1000のみ
	シーズン終了後	機械の清掃 各部の損傷・部品脱落 ローラチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部	部品交換・取付 早めの部品交換 全ボルトナットの増し締め 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布	

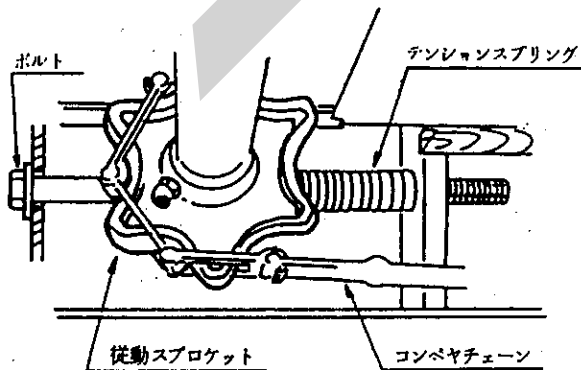
2 各部の調整

1. 床コンベヤチェーンのテンション

- (1) 荷箱内に入り、コンベヤチェーンの中央をカ一杯持ち上げた時、チェーンが100~120mm持ち上がるようにセットします。



- (2) 左右のコンベヤチェーンの持ち上がる量が同じになるように、左右のテンションボルトを締め込んでください。



2. ローラチェーンのテンション

TMB1000	床コンベヤの駆動
ADW1000	ならしビータへの駆動

- (1) ローラチェーンが入っているカバーを開けてください。
- (2) テンションローラのボルトをゆるめてください。
- (3) テンションローラを動かしチェーンを張ってください。
- (4) テンションローラのボルトを締めてください。
- (5) カバーを元通り取り付けてください。

6 不調時の対応

エンジンをとめてから処置してください。
 トラブルが発生したら「6-1 不調処置一覧表」
 に基づき処置してください。

▲注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
 PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。
 元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置	備 考
マ ニ ュ ア	床コンベヤが動かない	ギヤ・シャフトの破損	部品交換	
		ラチェットホイール関係の調整不良または損傷	調整もしくは部品交換	
		コンベヤチェーンの破損	部品交換の上、「5-2-1床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し	
		コンベヤチェーンの外れ	テンションボルトをゆるめ、スプロケットにかけ直し、「5-2-1床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し	
ボ デ イ	機体がふらつく	左右のタイヤ空気圧がアンバランス	「2-1-4 製品本体の点検」に基づき、適正空気圧にする	
		ハブナットがゆるんでいる	増し締めする	
		ハブベアリングの摩耗	キャスルナットの増し締めまたはベアリングの部品交換	
ワ イ ド ビ ー タ ア タ ッ チ メ ン ト	ビータが回転しない	ローラチェーンが外れている	ローラチェーンをかけ直す	
		ローラチェーンのテンションがゆるい	「5-2-2 ローラチェーンのテンション」に基づき張り直す	

原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。


1. 製品名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製造番号
4. 故障内容 (できるだけ詳しく)

7 部 品 表


部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
 - ② 部品供給型式 (型式)
 - ③ 部品名称 (部品表を参照してください)
 - ④ 部品番号 (部品表を参照してください)
 - ⑤ 個 数 (部品表を参照してください)
- ※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

(例)

見出番号	部品番号	部 品 名 称	個 数
1	92602	シャフト  2付	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボトル・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)

- A ; ナット・スプリングワッシャ付
- D ; ナット2個付
- N ; ナット付
- P ; ワッシャ付
- W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の ・ は以下のことを表しております。

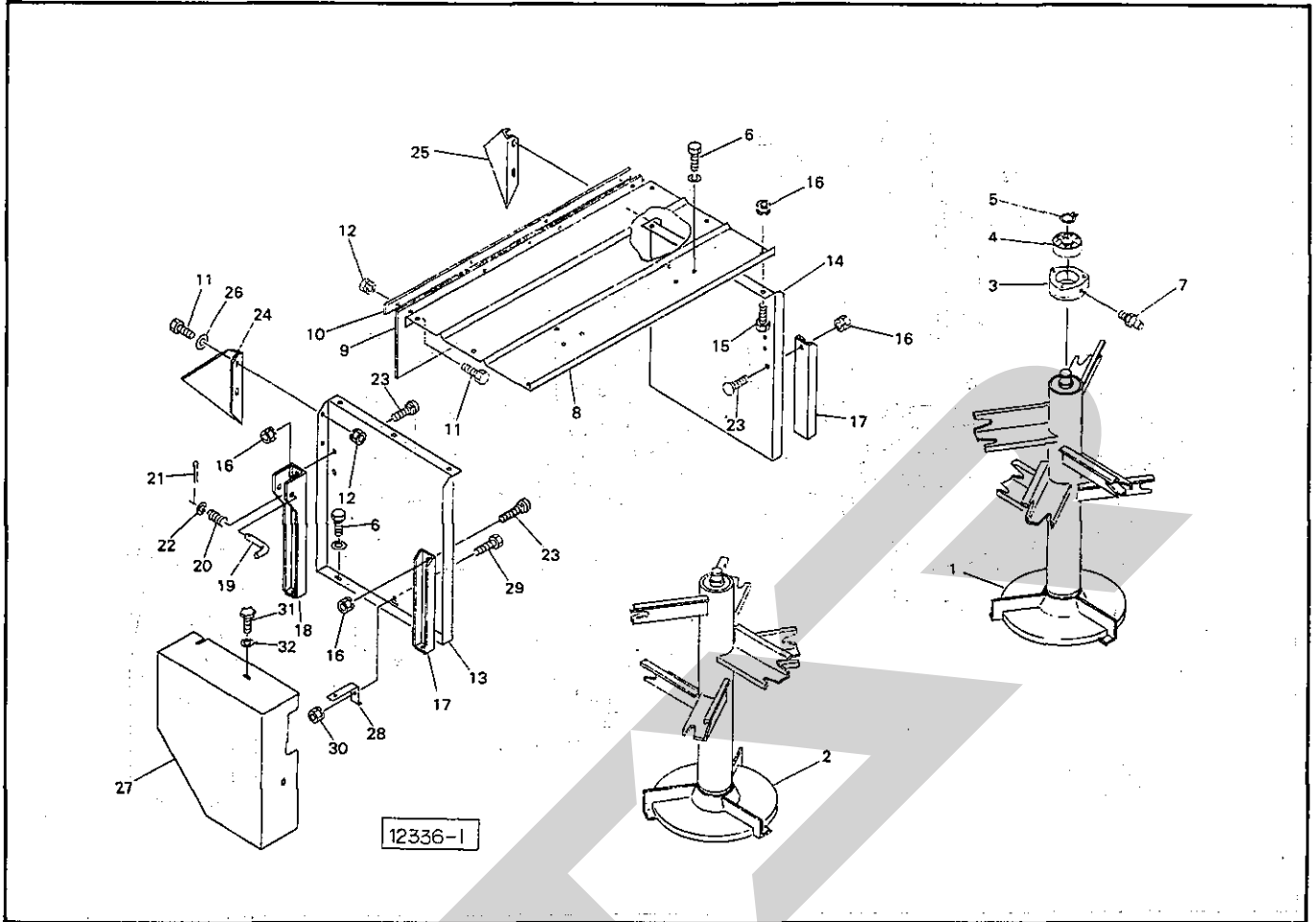
- …シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- …アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限 (期間) は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

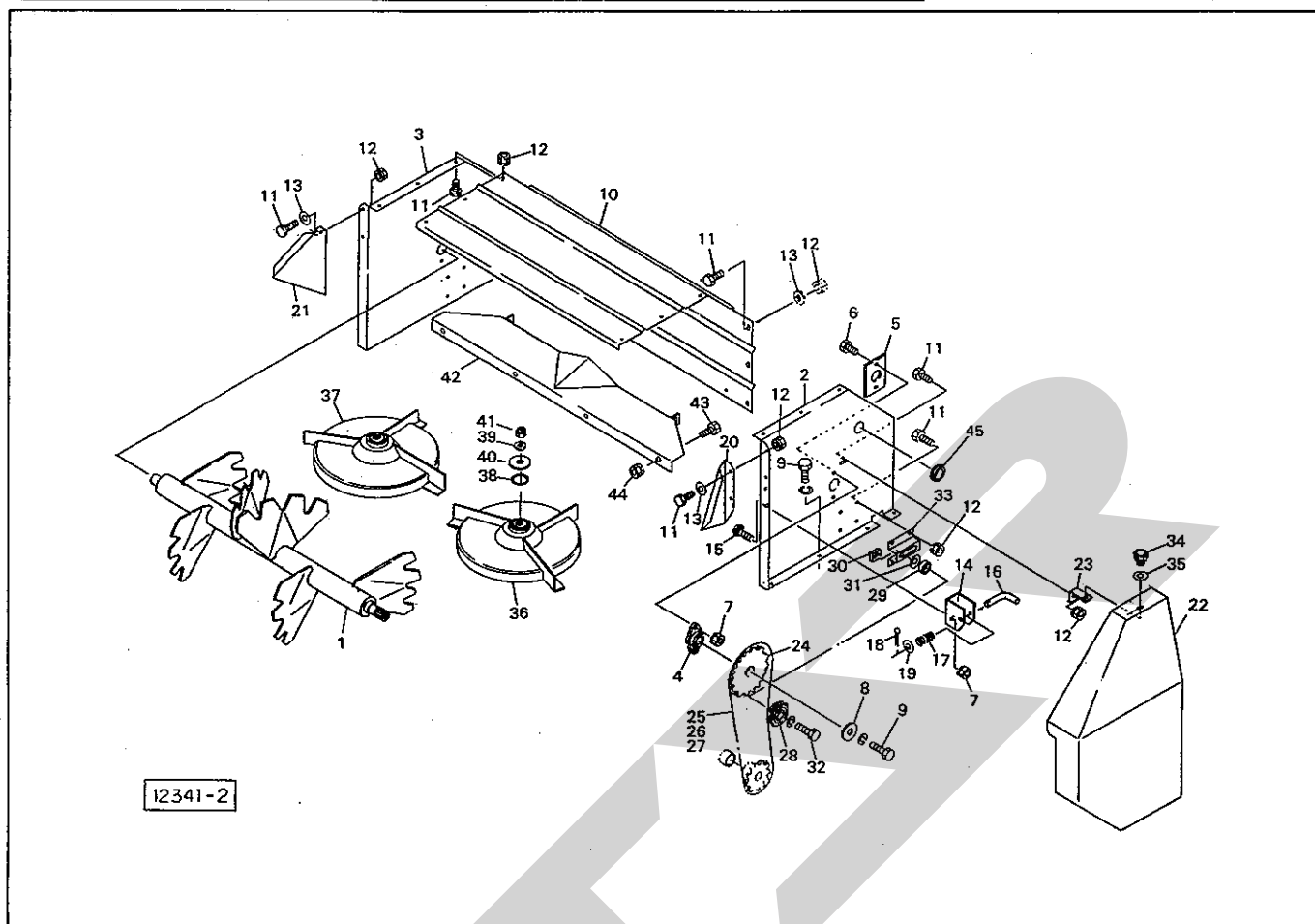
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

AWB1000 ワイドビータアタッチメント ビータ



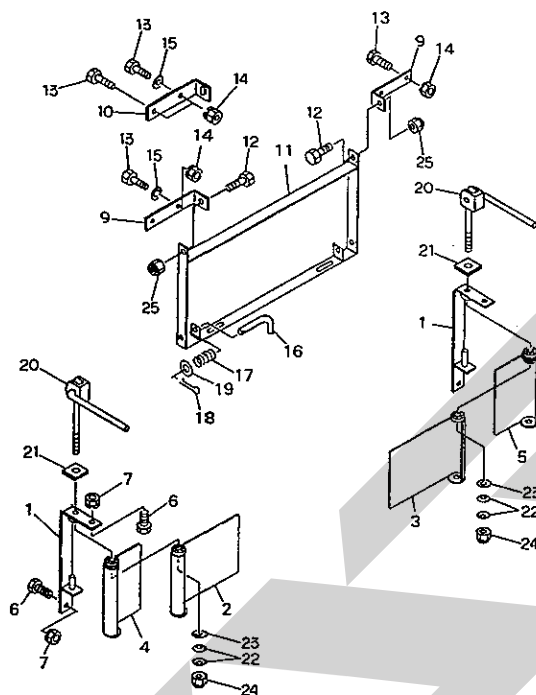
見番 番号	部品番号	部品名称	個数	見番 番号	部品番号	部品名称	個数
1	99821	ビータ; R	1	26	80414	ワッシャ; 8	4
2	99822	ビータ; L	1	27	99577	カバー	1
3	77721	メタル	Ⓢ7付	28	99578	ブラケット	1
4	JCS 206LLU	ベアリング; CS 206 LLU	2	29	BZ 0816G	ボルト; M8 × 16 (8.8)	1
5	DC 30	スナッピング; S 30	2	30	NP 08G	スプリングナット; M 8	1
6	BZ 1020WG	ボルト; M 10 × 20 (8.8)	12	31	00690	ニギリ; M 8 × 14	3
7	ONAS 6	グリースニップル; A-M 6 × 1 F	2	32	80414	ワッシャ; 8	3
8	99823	アップボード	1				
9	99583	ゴムプレート	1				
10	99584	プレート	1				
11	BZ 0820G	ボルト; M 8 × 20 (8.8)	8				
12	NP 08G	スプリングナット; M 8	8				
13	99585	サイドプレート; L	1				
14	99586	サイドプレート; R	1				
15	BZ 1020G	ボルト; M 10 × 20 (8.8)	6				
16	NP 10G	スプリングナット; M 10	12				
17	99587	ステー	2				
18	103007	ステー	2				
19	66727	ピン	Ⓢ21付				
20	67032	スプリング	2				
21	PC 3220G	ワリピン; 3.2 × 20	2				
22	WRA 12G	ワッシャ; M 12	2				
23	00450	カクネボルト; M 10 × 20 (8.8)	6				
24	99593	サイドガード; L	1				
25	99594	サイドガード; R	1				

ADW1000 ディスクビータアタッチメント ビータ, カバー, ディスク



番出 号	部品番号	部品名称	個数	番出 号	部品番号	部品名称	個数
1	99779	ビータ	1	26	AA 50	ツギテ; 50	1
2	99780	サイドプレート; L	1	27	AD 50	1ピッチオフセット; 50	1
3	99781	サイドプレート; R	1	28	81267	テンションローラ	1
4	JASFB 206	ベアリングユニット; ASFB 206	2	29	82660	カラー	1
5	99782	プレート	1	30	100071	ナット	1
6	BZ 1030G	ボルト; M10×30 (8.8)	4	31	40608	ワッシャ; 12	1
7	NP 10G	スプリングナット; M10	8	32	BZ 1245WG	ボルト; M12×45 (8.8)	1
8	61737	ワッシャ; φ11×45×3.2	2	33	99787	ブラケット	1
9	BZ 1020WG	ボルト; M10×20 (8.8)	8	34	00690	ニギリ; M8×14	3
10	99783	アッパーボード	1	35	80414	ワッシャ; 8	3
11	BZ 0820G	ボルト; M8×20 (8.8)	19	36	99775	ディスク; L	1
12	NP 08G	スプリングナット; M8	19	37	99776	ディスク; R	1
13	80414	ワッシャ; 8	8	38	ORG 40	Oリング; G 40	2
14	103008	チャンネル	2	39	WF 162702	シールワッシャ; WF 16272	2
15	00450	カクネボルト; M10×20	4	40	30619	ワッシャ	2
16	66727	ピン	2	41	NN 16G	ナイロンナット; M16	2
17	67032	スプリング	2	42	99777	ベース	1
18	PC 3220G	ワリピン; 3.2×20	2	43	BZ 1020G	ボルト; M10×20 (8.8)	4
19	WRA 12G	ワッシャ; M12	2	44	NP 10G	スプリングナット; M10	4
20	99593	サイドガード; L	1	45	59144	グロメット; 36	2
21	99594	サイドガード; R	1				
22	99785	カバー	1				
23	99578	ブラケット	1				
24	99786	スプロケット; 32 T	1				
25	LD 5089	ローラチェーン; 50×89 (見) 26, 27 付	1				

ADW1000 ディスクビータアタッチメント 規制板

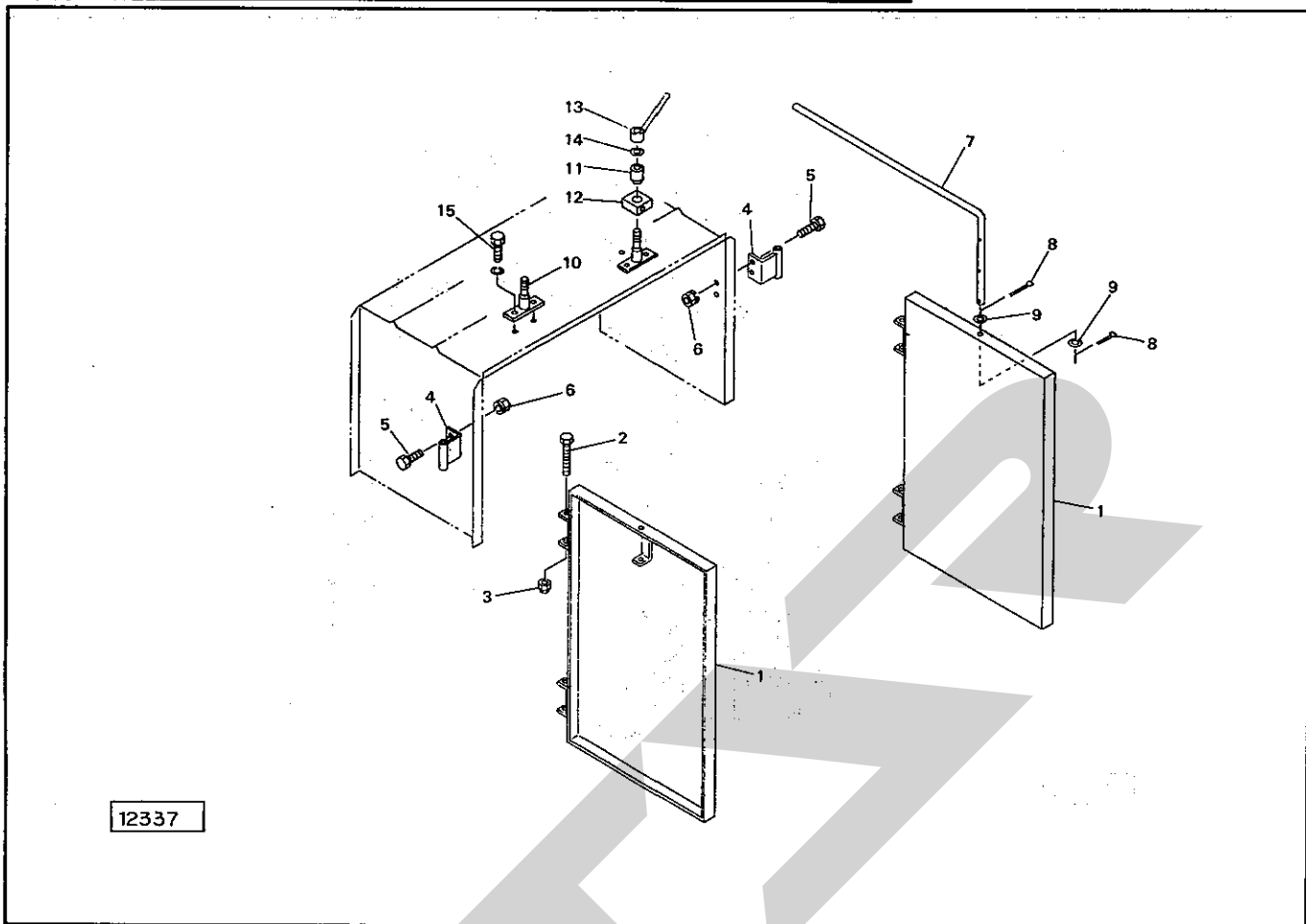


12342-1

見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数	見 番 号	部 品 番 号	部 品 名 称	個 数
1	99788	ブラケット	2				
2	103009	キセイバン; L 1	1				
3	103010	キセイバン; R 1	1				
4	99791	キセイバン; L 2	1				
5	99792	キセイバン; R 2	1				
6	BZ 1020G	ボルト; M 10 × 20 (8.8)	4				
7	NP 10G	スプリングナット; M 10	4				
9	103011	アングル; L	2				
10	103012	アングル; R	2				
11	103013	リヤカバー	1				
12	BZ 1025G	ボルト; M 10 × 25 (8.8)	2				
13	BZ 0820G	ボルト; M 8 × 20 (8.8)	8				
14	NP 08G	スプリングナット; M 8	8				
15	80414	ワッシャ; 8	4				
16	66727	ピン	⑮18付				
17	67032	スプリング	2				
18	PC 3220G	ワリピン; 3.2 × 20	2				
19	WRA 12G	ワッシャ; M 12	2				
20	103014	レバー	2				
21	103015	プレート	2				
22	WRCL 12	サラバネ; L 12	4				
23	40608	ワッシャ; 12	2				
24	NN 12G	ナイロンナット; M 12	2				
25	NN 10G	ナイロンナット; M 10	2				

A RW1820

規制板アタッチメント(ワイドビータ用)オプション



12337

品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	87478	ガード	2				
2	BA12110G	ボルト; M12×110	4				
3	NN12G	ナイロンナット; M12	4				
4	87480	ブラケット	4				
5	BZ1025G	ボルト; M10×25(8.8)	8				
6	NP10G	スプリングナット; M10	8				
7	87481	ロッド	2				
8	PC3216G	ワリピン; 3.2×16	4				
9	WRA12G	ワッシャ; M12	4				
10	87482	ピン	2				
11	85465	プランジャー	2				
12	87484	ストッパ	2				
13	74738	ハンドル	2				
14	WS12G	Sワッシャ; M12	2				
15	BZ1025WG	ボルト; M10×25(8.8)	4				

START

本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1061 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 营 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1061 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭 川 营 業 所 070-8004 旭 川 市 神 楽 4 条 9 丁 目 3 番 31 号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊 富 出 張 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1191 番 地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 营 業 所 080-2462 帯 広 市 西 22 条 北 1 丁 目 12 番 地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北 見 出 張 所 090-0001 北 見 市 小 泉 3 0 2
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中 標 津 营 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 16 番 2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花 巻 营 業 所 025-0312 岩 手 県 花 巻 市 二 枚 橋 第 三 地 割 333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙 台 营 業 所 985-0845 宮 城 県 多 賀 城 市 町 前 2 丁 目 4 番 27 号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小 山 营 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名 古 屋 营 業 所 480-0102 愛 知 県 丹 羽 郡 扶 桑 町 大 字 高 雄 字 南 屋 敷 191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松 本 出 張 所 399-0033 長 野 県 松 本 市 大 字 笹 賀 5 8 2 4 - 5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡 山 营 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 营 業 所 862-0939 熊 本 県 熊 本 市 長 嶺 南 1 丁 目 2 番 1 号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都 城 营 業 所 885-0004 宮 崎 県 都 城 市 都 北 町 3 5 3 7 - 1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644